

**意見書様式**  
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料3

第1回部会 素案に対する委員意見とりまとめ

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	委員意見	理由等	県の考え方	委員 専門委員
1	4	43	14	① 各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進	これから生かしていくしまくとぅばの中で、男性がハイサイで、女性がハイタイでいいのか。 生きたしまくとぅばを今後若い世代に教えていく中において、SDGsが掲げるジェンダー平等とどういう整理をされているのか。	左記のとおり	しまくとぅばについては、県内各地域において世代を越えて受け継がれてきたしまくとぅばを次世代へ継承していくことが重要と考えております。 しまくとぅばの普及・継承については、ジェンダー平等など社会背景も踏まえつつ、取り組んで参ります。	東 専門委員
2	4	43	26	② 伝統芸能の継承・発展	民謡に関する調査について  これまでに県でも調査を実施しているかと思うが、正しく保存・継承・発展していくためにも、詳細な調査を実施して欲しい。 他自治体の例としては、鹿児島県が民謡調査を行っている事例もある。	左記のとおり	県では、民謡を含む地域の伝統文化の保存・継承・発展に取り組んでいるところであります。 民謡調査の実施につきましては、本県の現状・課題を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。	大城 専門委員
3	4	43	27	② 伝統芸能の継承・発展  □ 組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、県民に向けた鑑賞機会の提供と発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組む。	伝統芸能を保存・継承・発展させていくうえで大事なのは、正しく保存・継承・発展させていくことである。  例えば、「新安里屋ゆんた」では、歌詞のなかで「ヤレホニ」と記載しているものもあるが、正しくは「ヤレホンニ」である。 また、踊りの振付に関しても、振付がされた意図や文化的背景を深く考察せずに、手が加えられている場合もある。 このため、民謡や踊り等、伝統芸能については本来の形(原形)を正しく理解する必要があると考える。	左記のとおり	当該項目では、本県の歴史と風土に培われてきた独特の伝統文化を継承発展させていくことの重要性を踏まえたものであり、委員ご指摘のとおり将来に渡って「正しく」保存・継承されることを前提として、伝統芸能の分野においても、継承にとどまらず、新たな創造が行われることが想定されることから、その発展のための取り組みも行っていくこととしております。	大城 専門委員

**意見書様式**  
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料3

第1回部会 素案に対する委員意見とりまとめ

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	委員意見	理由等	県の考え方	委員 専門委員
4	4	43	27	□ 組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、県民に向けた鑑賞機会の提供と発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組む。	国内外へ向けた鑑賞機会の提供と情報発信に関しては、質の高いものを提供することが大切である。鑑賞した人の評価が低ければ、次の鑑賞機会はなかなか得られない。  公演の際には、人手が足りず演者が舞台裏の仕事をすることもあり、演者が舞台に集中できない状況が多々ある。良い舞台を作り上げるためには人手が掛かるので、舞台を支える人材の確保も必要である。	左記のとおり	文化芸術の振興に当たっては、委員ご指摘のとおり質の高い文化芸術が人々に深い感動や新たな発見をもたらすとともに、人々の創造性を喚起することから、これらを実現するため、1-4-1-①において文化芸術を担う人材の育成に取り組むこととしております。	大城 専門委員
5	4	47	3	□ 世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組む。	・ウを達成するためには①から③までをしっかりと関連させ、沖縄空手会館をハブにさまざまな展開ができると県内外(国外からも)からアクセスしやすい状況がうまれると思われる。	左記のとおり	ご指摘のとおり、沖縄空手の保存・継承・発展に向けて、施策間の連携は重要であると認識しております。 このため、沖縄空手会館を拠点として、同会館内に設置した「沖縄空手案内センター」によるコーディネートなど、国内外の空手愛好家の受入体制の更なる強化に取り組むほか、セミナーの開催による次世代を担う指導者・後継者の育成、沖縄空手世界大会の定期開催を通じた国際交流など、様々な施策を一体的に推進していきたいと考えております。	石原 専門委員
6	4	47	3	□ 世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組む。	当方では途上国の日系人・日系社会に関わる方に対する沖縄空手の研修を実施(通常は訪日研修)。また、指導者の海外派遣についても海外協力隊事業などで連携が可能。	左記のとおり	ご意見のとおり、空手関係団体のみならず、貴所をはじめとする様々な関係機関・団体と密接に連携させていただきながら、取組を着実に推進してまいりたいと考えております。	倉科 専門委員

**意見書様式**  
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

資料3

第1回部会 素案に対する委員意見とりまとめ

部会名:文化観光スポーツ部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	委員意見	理由等	県の考え方	委員 専門委員
7	4	114	23	② 空手を活用した産業の創出・振興	武道というのは愛好者もいればライト層もいるため、道場を巡り、道場が持っている非常にいいコンテンツを伝えていくようなライト層向けのツアーパッケージも今後必要であると考えます。	左記のとおり	沖縄空手会館内に設置している「沖縄空手案内センター」を通じ、沖縄空手に関する情報発信や問い合わせへの対応、県内町道場へのコーディネート等を引き続き積極的に実施してまいります。 また、県内空手関係団体と観光産業・商工業等の分野の連携による、県外・海外の愛好家、一般観光客、教育旅行の児童生徒等の幅広い層をターゲットとした、空手のルーツ巡りや空手体験等を組み込んだ旅行商品の開発等に対して、積極的に支援を行っていきたいと考えております。	原田 専門委員
8	4	114	23	② 空手を活用した産業の創出・振興	武道ツーリズム、空手ツーリズムは、今後相当期待できる分野であると考えており、企業をはじめいろいろな人が関わられるような空手界をつくり上げないといけないという気がします。今は関係者だけが関わっているので、運営基盤の強化が重要ではないかと考えます。	左記のとおり	沖縄伝統空手道振興会をはじめとする県内空手関係団体の運営基盤強化に引き続き取り組むとともに、新たな振興計画に基づき、空手関係団体と観光産業・商工業等の分野の連携による、県外・海外の愛好家、一般観光客、教育旅行の児童生徒等の幅広い層をターゲットとした、空手のルーツ巡りや空手体験等を組み込んだ旅行商品のほか、空手関連のお土産品の開発等に対して、積極的に支援を行っていきたいと考えております。	ダルーズ 専門委員
9	—	—	—	—	文化庁では文化観光推進法を制定し、それに基づく文化施設を拠点とした観光の在り方について、全国で話が進められているようだが、沖縄には拠点が1カ所もない状況である。改めてそういう法律の確認もお願いしたい。	左記のとおり	文化観光推進法に基づく文化施設を拠点とした観光の在り方については、委員のご意見を踏まえ、今後沖縄県立博物館・美術館や沖縄空手会館等の関係機関とも連携して検討を行いたいと考えております。	下地 部会長